



ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェア バージョン 1.3(11) リリースノート

ACI 向け Cisco ASA デバイスパッケージのリリースノート 2

ソフトウェアのダウンロード 2

使用可能な APIC 製品 2

サポートされるバージョン 3

ソフトウェアのインストール 3

バグ検索 3

バージョン 1.3(11) で解決された拡張要求 4

バージョン 1.3(11) で解決された不具合 4

特記事項 5

サービスアプライアンスの BGP ピ어링の設定が不完全な場合にポリシーマネージャがロックアップする 5

APIC への登録後に ASA のバージョンを変更した場合に APIC を手動で再同期する 6

具象インターフェイスの変更時に ASA の設定がロールバックされない 6

ブリッジモードで 2 番目のグラフが ASA に誤った設定をプッシュする 6

アウトオブバンド設定の復元 7

関連資料 9

改訂：2026 年 2 月 5 日

ACI 向け Cisco ASA デバイスパッケージのリリースノート

ソフトウェアのダウンロード

Cisco.com のログイン情報を使用して、次の場所から Cisco ASA デバイスパッケージのソフトウェアイメージを取得します。

<https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=283123066&flowid=22661&softwareid=286279676>

使用可能な APIC 製品

リリース 1.2 (7.8) 以降、ACI の Cisco ASA デバイスパッケージソフトウェアには 2 つのバージョンがあります。

- Cisco ASA デバイスパッケージ：ファブリック挿入を使用したポリシーオーケストレーション。このバージョンでは、次のように APIC から ASA の多くの重要機能を設定できます（ただし、次に限定されません）。
 - インターフェイス
 - Routing
 - Access-list（アクセス リスト）
 - NAT
 - TrustSec
 - アプリケーション インспекション
 - NetFlow
 - ハイ アベイラビリティ
 - サイト間 VPN
- Cisco ASA デバイスパッケージ：ファブリック挿入。このバージョンには、元のバージョン機能の次のサブセットが含まれています。
 - インターフェイス
 - ダイナミック ルーティング
 - スタティック ルーティング

サポートされるバージョン

Cisco ASA デバイス パッケージのソフトウェアは、同梱された APIC M P バージョンだけをサポートしています。

次の表は、サポートされるプラットフォームのそれぞれに対してサポートされている Cisco ASA ソフトウェアのバージョンを示しています。

プラットフォーム	ソフトウェア バージョン
ASA 5500-X (5512 ~ 5555)	ASA 8.4(x) 以降
ASA 5585-X (SSP 10 ~ SSP 60)	
Cisco Firepower 9300 セキュリティ アプライアンス	ASA 9.6(1) 以降
Cisco Firepower 41xx セキュリティ アプライアンス	
Cisco Firepower 21xx セキュリティ アプライアンス	ASA 9.8(1) 以降
Cisco ASAv	ASA 9.2(x) 以降 (Cisco ASA および APIC 互換性対応表)

ソフトウェアのインストール

デバイスパッケージのインストール方法については、「[Software Download](#)」ページにハイパーリンクされているそれぞれのバージョンの「[Cisco ASA Quick Start Guide for APIC Integration](#)」を参照してください。



(注) APIC リリースに CSCuv4353 の修正が含まれている場合は、古いバージョンから新しいバージョンにアップグレードするために、以前のソフトウェアパッケージを削除する必要はありません。それ以外の場合は、新しいバージョンをインストールする前に、APIC から古いバージョンを削除します。

バグ検索

Cisco.com に登録しているユーザーとしてサインインし、[バグ検索ツール](#)を使用して各バグまたは不具合の詳細を確認してください。

バージョン 1.3(11) で解決された拡張要求

表 1: Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.3(11) で解決された拡張要求

要求/不具合	説明
CSCvf74631	ASA クラスタ設定をサポートします。
CSCvi63894	データインターフェイス IP アドレスのクラスタプールの設定をサポートします。
CSCvj75339	ASA デバイスパッケージの CLI 'mac-address-table' コマンド。
CSCvk42308	ポートチャネル スパンクラスタをサポートします。

バージョン 1.3(11) で解決された不具合

表 2: Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.3(11) で解決された不具合

不具合	説明
CSCvh95888	ASA DP は、IRB 展開のために BVI のアクセスグループとセキュリティレベルをサポートする必要があります。
CSCvh95899	ASA DP FI クラウドオーケストレーション機能プロファイルは、スタティックルートをサポートする必要があります。
CSCvi23896	ASA DP に IPv4 および IPv6 の機能プロファイルがありません。
CSCvi80770	管理 IP が重複している ASA マルチコンテキスト機能には、APIC を使用したソリューションが必要です。
CSCvj87694	インターフェイスにブリッジグループを割り当てることができません。
CSCvj97862	ASA DP には、混合モード IRB の機能プロファイルが必要です。
CSCvk44096	ASA DP が FI デバイスパッケージを APIC にアップロードできません。
CSCvm22810	クラウドモード : IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方が設定されている場合、nameif の長さが長すぎます。

不具合	説明
CSCvn10162	ASA DP は 9.10 を 9.3 未満として処理し、一部の BGP テストケースが失敗します。

特記事項

- ASAv はマルチコンテキストモードをサポートしません。
- ダイナミック EPG を使用した ACE には、ASA イメージ 9.3.2 以降が必要です。

サービスアプライアンスの BGP ピアリングの設定が不完全な場合にポリシーマネージャがロックアップする

不具合 CSCuw0342 には次の回避策を使用します。

症状：サービスアプライアンスの BGP ピアリングに使用される l3Out の設定が不完全な場合、ポリシーマネージャがクラッシュする (CSCuw03425)。

状況：サービスアプライアンスの BGP ピアリングに使用される l3Out に l3extRsNodeL3OutAtt がありません。

回避策：l3Out に l3extRsNodeL3OutAtt が含まれていることを確認します。この問題は今後のリリースで修正されます。

次に、l3extRsNodeL3OutAtt を含む BGP XML の例を示します。

```
<polUni>
<fvTenant name="tenant1">
<l3extOut name="StaticExternal">
<l3extLNodeP name="bLeaf-101">
<l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="190.0.0.11">
<ipRouteP ip="50.50.50.0/24">
<ipNexthopP nhAddr="40.40.40.102/32"/>
</ipRouteP>
</l3extRsNodeL3OutAtt>
<l3extLIIfP name="portIf">
<l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/15]" ifInstT="ext-svi" encap="vlan-3843"
addr="40.40.40.100/28" mtu="1500"/>
</l3extLIIfP>
</l3extLNodeP>
<l3extInstP name="ExtInstP">
<l3extSubnet ip="50.50.50.0/24" scope="export-rtctrl"/>
</l3extInstP>
<l3extRsEctx tnFvCtxName="tenant1ctx1"/>
</l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

APIC への登録後に ASA のバージョンを変更した場合に APIC を手動で再同期する

不具合 CSCva89163 には次の回避策を使用します。

症状：一部のコマンドが機能しない。たとえば、**network** コマンドと **neighbor** コマンドの情報が表示されません (CSCva89163)。

状況：APIC に登録されているバージョンとは異なるバージョンの ASA を使用している場合、APIC に自動的に再登録されません。そのため、古いバージョンの ASA を使用している場合は、一部のコマンドがサポートされない場合があります。

回避策：次の手順を実行して、手動で APIC と ASA を再同期します。

手順

ステップ 1 APIC GUI の [テナント (Tenants)] タブで、左側のペインの [L4-L7 サービス (L4-L7 Services)] を展開します。

ステップ 2 [L4-L7 デバイス (L4-L7 Devices)] を展開します。

ステップ 3 APIC を実行しているファイアウォールを展開します。

ステップ 4 APIC を実行しているデバイスを右クリックし、[デバイス検証の再クエリ (Re-Query for Device Validation)] を選択します。

具象インターフェイスの変更時に ASA の設定がロールバックされない

不具合 CSCvd65130 には次の回避策を使用します。

症状：ブリッジモードで展開されたグラフの lif 設定でクラスタインターフェイスが変更されると、新しいインターフェイスが ASA で正しく更新されない場合がある。

状況：ASA デバイスのクラスタインターフェイス設定に変更が加えられた場合。

回避策：デバイスに変更を加える前にコントラクトからグラフをデタッチし、その後にアタッチします。

ブリッジモードで 2 番目のグラフが ASA に誤った設定をプッシュする

不具合 CSCvd68860 には次の回避策を使用します。

症状：ブリッジモードで2番目以降のグラフがASAの新しいクラスタインターフェイスのセットに展開されると、クラスタインターフェイスが正しいブリッジグループで設定されていないことが表示される場合がある。これにより、設定の問題が発生し、ASAのデフォルト名を使用している既存のクラスタインターフェイスとの競合が発生する。

状況：ブリッジモードのASAのデフォルトインターフェイス名を持つ新しいクラスタインターフェイスのセットを使用したグラフ展開。

回避策：グラフの設定中に、グラフパラメータの[インターフェイス関連の設定 (Interface Related Configuration)]でクラスタインターフェイス名を変更します。

アウトオブバンド設定の復元

不具合 CSCvb90258 には、次の拡張機能を使用してください。

症状：ASA ファブリック挿入 (FI) デバイスパッケージ (DP) が、アウトオブバンドでの設定の保存をサポートしていません。

条件：ASA-FI-DPは、ルーティングおよびインターフェイス設定のみをサポートします。サービスグラフに access-group や nat などのセキュリティ ポリシー バインド コマンドをバインドする設定はサポートしていません。サービスグラフにセキュリティポリシーを割り当てるには、手動でセットアップを設定する必要があります。サービスグラフの削除後にサービスグラフを再レンダリングする場合は、バインディングを手動で再設定する必要があります。

ソリューション：この拡張機能により、セキュリティ ポリシー バインド コマンドをファイルに保存でき、サービスグラフの再接続後に ASA-FI-DP によって適用できます。

XML：SecurityPolicyAssignment という名前のフォルダが vnsMFunc の下に追加されました。このフォルダでは、サービスグラフに割り当てるセキュリティポリシーを含む設定の名前を入力できます。

```
<vnsMFunc name="Firewall">
<vnsMFolder key="ExIntfConfigRelFolder" dispLabel="External Interface Configuration"
description="A list of additional interface parameters for external connector"...>
<vnsMFolder key="InIntfConfigRelFolder" dispLabel="Internal Interface Configuration"
description="A list of additional interface parameters for internal connector" ...>
<vnsMConn name="external" ...>
<vnsMConn name="internal" ...>
  <vnsMFolder key="SecurityPolicyAssignment"
    dispLabel="Security Policy Assignment"
    description="Assign the security policy in the named file to the service-graph">
    <vnsMParam key="ConfigFile"
      dispLabel="Configuration File"
      dType="str"
      description="Specify the name of the file that contains the out of band configuration specific to the
service-graph"/>
  </vnsMFolder>
</vnsMFunc>
```

APIC :

Edit L4-L7 Service Parameters



Click row to edit value

Contract Name: dahai

Graph Name: dahai

Node Name: N1

Features

Basic Parameters All Parameters

All

Folder/Param	Name	Value
☒ Device Config	Device	
☐ > Bridge Group Interface		
☒ > Interface Related Configuration	externalIf	
☒ > Interface Related Configuration	internalIf	
☒ Function Config	Function	
☒ > External Interface Configuration	ExtConfig	
☒ > Internal Interface Configuration	IntConfig	
☐ Security Policy Assignment		
☐ Configuration File	ConfigFile	my-service-graph.cfg

Show Usage

Cancel

Submit

- ファイルが ASA にある場合は、ファイル名を入力します。
- ファイルが TFTP サーバー上にある場合は、`tftp://<ip-address>/<filename>` と入力します。
- ファイルが FTP サーバー上にある場合は、`ftp://<ip-address>/<filename>` と入力します。

ファイルのコンテンツは、サービスグラフで使用するインターフェイスを参照するアウトオブバンドを入力する必要があるコマンドです。次に例を示します。

```
access-group <acl-name> [in|out] interface <nameif>
nat (<nameif>, <nameif>) ...
service-policy <policy-name> interface <nameif>
crypto map <map-name> interface <nameif>
crypto ike2 enable <nameif>
```

次に、インターフェイス `externalInt` および `internalInt` を持つサービスグラフのファイルの例を示します。

```
access-group access-group external_access_acl in interface externalInt
nat (internalInt,externalInt) source static real_obj mapped_obj
```

```
nat (internalInt,externalInt) source dynamic any mapped_obj interface
```

インターフェイスを参照しないコマンドは、サービスグラフを削除しても削除されないため、ファイルに含めることはできません。そのようなコマンドの例を次に示します。

```
access-list  
object network  
object service  
object-group network  
object-group service
```

関連資料

- [Cisco ACI の基礎](#)
- [Cisco ACI セキュリティ ソリューション](#)
- [『Cisco APIC レイヤ 4 ～ レイヤ 7 サービス導入ガイド』](#)
- [Cisco APIC の製品に関するサポート ページ](#)
- [Cisco ASA シリーズのロードマップ](#)
- [Cisco Firepower Management Center](#)

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。